

権限が日本と雲泥の差

予防接種や用法変更も

(1ページから続く)

集し、出した結論が「北米で薬剤師として働いてみよう」。薬剤師になりたいから目指すのではなく、薬剤師がなぜ社会で必要とされているか、その理由を知るためには自分が薬剤師になるのが近道だった。

トロント大学で薬剤師に必要な教育プログラムを学び、カナダの西海岸にあるブリティッシュコロンビア州で薬剤師免許を取得。2012年から8年にわたって薬局で薬剤師業務を経験した。

カナダの薬局で働く薬剤師はプロ意識、薬剤師であることへの誇りに満ちあふれていた。ワクチンの予防接種を行い、禁煙療法としてニコチン代替療法を実施し、日本では医療行為に該当する業務を薬剤師が日常的に実施する。医師の指示通りに動くのではなく、医師が記載した処方箋に誤りがあれば、薬剤師が疑義照会を行うか、独自の判断で用法変更をすることもある。

地域住民からの健康相談やOTC医薬品での軽医療も引き受けていた。

薬剤師に医療職としての権限や裁量権が与えられており、その点においては日本とカナダは雲泥の差があった。若子さんは「地域住民にしてあげられること、提供できるサービスがたくさんあるからこそ、社会で必要とされていると実感している」と話す。



カナダで薬局薬剤師として活躍する若子さん

剤師を有効活用することが前提条件になる。

先日まではカナダの薬局オーナー兼薬局長として薬局経営に携わる一方、数カ月ごとに帰国しては薬局経営者へのコンサルティング業務、各地で講演活動が続けた。昨年からには薬局と薬剤師の活用に向けて厚生労働省や保険者、都道府県薬剤師会の会長、大学教授が議論する場として戦略会議を主催し、薬剤師の存在意義を示すエビデンス構築に取り組んでいる。それでもスピード感が足りない。ならば自分が政治家になって変えてやると決心した。

若子さんは、「自分のキャリアパスがどうあるべきかという目的においては一定の到達点にきている。あとは薬剤師を活用することで日本の医療をどう良くしていくか、そんなシンプルでも難解な問題に取り組んでいきたい」と話す。

経済的視点を持ち患者に対応

費用対効果の高い治療を選択

薬剤師の職能がユニークな領域で発揮されていることも分かった。薬剤の費用対効果など経済的視点を持って患者に対応しており、薬剤師業務の本質は予防と処方の適正化にあった。フォーミュラー制度下では医師が処方した薬が一部、保険償還の対象にならないこともある。処方箋通りに調剤してしまっただけでは薬代が高額になり患者が困ることも起こり得る。保険償還の対象にならない場合には薬剤師が患者に説明を行い、納得できない場合は医師に処方変更の提案をする、または自らの権限で処方内容を変更することもある。費用対効果の視点からも監査機能を担っているのだ。

地域住民と双方向でコミュニケーションを取りながら、最も費用対効果が高い薬物療法を選択する上で薬剤師が関与し、医療財政に貢献する。カナダは平均寿命が82歳を超え、高齢化が進行しながらも、国民皆保険制度は次世代まで維持可能といわれている国だ。日本でも国民皆保険制度を持続可能なものにするためには薬剤師の職能・機能

を拡大し、医療の一翼を担うために、カナダの先進事例が参考になると考えた。

日本の薬局数は約5万9000軒、薬剤師数は31万人。人口1000人当たりで見たとときの薬剤師数はカナダの2倍に相当する。医師の働き方改革、タスクシフティングを支援、日本の国民皆保険制度を持続可能なものにするためには31万人の薬

国試は出発点、何をやるか探して

趣味は料理。自ら考案したレシピは300種類とイタリアンやエスニック系まで広がっている。「凝り性なのでとことんやる」という性格で素材選びから調理までこだわる。終業後の楽しみ方を知ることによって薬剤師の働き方を考えるようになり、「9時に出勤して6時には帰宅する。カナダにいて、ワークライフバランスがしっかりした生活がいいな」と思えるようになった」と話す。

薬学生に対しては、「6年間教育を受けてきた

ことを忘れずに薬剤師という職業のポテンシャルを信じてほしい。ただ、国家試験は出発点でしかないの、自分で何をやるか探していけない」と助言する。若者の行動力にも期待しており、「疑問に思ったことは行動に起こしてほしい。薬剤師の職能を広げたいのであれば、薬剤師の声を政策の場に届けるにはどうしたらいいかを考え、主張できる環境を探すことが必要」とのメッセージを送る。

薬学生のための求人情報サイト

プレOPEN中!
先行登録受付

ファーマネット 2021&2022



病院求人件数

全国の病院・薬局を300件以上掲載!

<https://www.pha-net.jp/>

ファーマネット

検索

ナンバーワン!

今すぐ
登録!